

244341

41.59

256

あ	か	さ	な	は	ま	や	ん
い	き	し	に	ひ	み	い	
う	く	す	つ	ぬ	ふ	ゆ	
え	け	せ	て	ね	へ	め	
お	こ	も	と	の	ほ	も	

科技日語速成閱讀法

張堯千編



广东省科学技术情报研究所

编 者 的 一 话

这本科技日语速成阅读法共十五课，前十二课是基础课，后三课属参考性的，基本上没有什么新的语法规律。这十五课计划在三十几个小时讲完。根据在广州市纺织研究所、广州市科学技术经验交流馆、广州电器科学研究所、广州市二轻局等单位八期日文学习班的初步实践，证明这三十几个小时应均匀地安排在两三个月的时间内，即每个星期讲三个小时可把全部课文讲完。

本阅读法的重点是放在掌握阅读日文科技文献必不可少的语法规律上。初步掌握这些规律，并在此基础上经过记忆一些常用词汇，就可借助字典阅读本专业的日文科技文献。书中引用的例句大部分是选自近期日本科技文献。语法规律的讲解主要是选自有关语法参考书及编者日常阅读和翻译有关日文科技文献所积累的一些典型例句。

编写本阅读法主要参考了如下几种书籍：

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 新编科技日语自修读本 | 陈信德编著 |
| 现代日本语实用语法上、下册 | 陈信德编著 |
| 中学文法 | 汤泽幸吉郎等著 |
| 基础日语下册 | 湖南人民出版社 |
| 日语句子结构分析 | 李筱叔编著 |
| Учебник японского языка | Москва 1953 |

因时间急迫，加之水平有限，书中定有错误及不妥之处，望参加学习的同志在今后不断提高水平之后，及时提出加以修

改。这本阅读法虽然是介绍语法规律为主，但也要求参加学习的同志能正确掌握日语假名的发音，以便帮助更好地掌握日文有关词汇。

速成阅读法是在职学习外国语的有效方法，但学习的真正效果还要靠参加学习的同志在今后的不断经历中取得。

速成班的结束，日文学习仅是一个入门，入门之后还要继续掌握更多的语法规律及词汇，才能较少困难地阅读及笔译有关日文科技文献。

一九七七年八月

目 录

第一课	平假名和片假名	1
第二课	句子和词的分类	5
第三课	动词的基本形、连用形及未然形	10
第四课	五段活用动词及形容词	15
第五课	终止形、连体形、假定形及命令形	20
第六课	用言的复合、连用及进行态和持续态	26
第七课	推量式、完成式和表示并列的助词的用法	32
第八课	助动词れる、られる及せる、させる	38
	练习 (一)	
第九课	形式体言和形式用言	46
第十课	格助词特殊用法及其他助词的用法	52
	练习 (二)	
第十一课	某些助动词、助词及数词的用法	59
	练习 (三)	
第十二课	动词和形容词活用系统化及敬体句	67
第十三课	日本科学技术文献の検索	74
第十四课	翻译科技文献的若干要求	77
	练习 (四) 地熱発電の動向・将来の諸問題	
	练习 (五) 地熱発電所の特征	
第十五课	惯用词组	85

第一课 平假名和片假名

日语的假名即字母，分平假名和片假名两种。平假名是草体，片假名是楷书。日语中的五十音图即是日语的五十个字母表。日语假名的排列是按日本的习惯从右向左，并且象中国古书中的文字一样是直写。为了适应我国的习惯，在此采用从左向右的书写法。

平 假 名

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	ん
い	き	し	ち	に	ひ	み	い	り		
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	ゆ	る		
え	け	せ	て	ね	へ	め	え	れ		
お	こ	そ	と	の	ほ	も	よ	ろ	を	

日语五十音图中从上到下直读的字母叫行，如あ い う え お称之谓あ行，か き く け こ称之谓か行，其余类推。由左向右横读时的字母叫段。如あ か さ た な は ま や ら わ称之谓あ段，其余类推。

あ い う え お是五个基本元音；あ段的十个字母除あ和や元音外，其余八个字母是辅音。这八个辅音与五个基本元音构成了其它字母的发音。为了便于记忆，可把あ段的辅音的发音分别算成如下国际音标：

か さ た な は ま ら わ

K S T N H M I W

除あ行五个基本元音外，还有や行的五个元音，即や い

ゆ え よ。其中い和え与あ行重复，因而只有や ゆ よ三个元音要记，其发音基本上可读俄语中的 я、ю、е。

日语中除平假名外，还有片假名。它们只用来表示外来语或特殊词汇。它们的发音与平假名相同。

片 假 名

ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ	ン
イ	キ	シ	テ	ニ	ヒ	ミ	イ	リ		
ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ	ル		
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	エ	レ		
オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ヨ	ロ	ヲ	

五十音图中有三个字母い う え是重复的，所以实际上只有四十八个字母，わ行有二字母现已废止使用，而を只是在格助词时才用，因而只有四十五个字母被用在现代日语中。

五十音图中还有四行浊音和一行半浊音。它们是从か行、き行、た行和は行变来的。

浊

音

半 浊 音

が	ぎ	だ	ば
ぎ	じ	ぢ	び
ぐ	ず	づ	ぶ
げ	ぜ	で	べ
ご	ぞ	ど	ぼ

ガ	ザ	ダ	バ
ギ	ジ	ヂ	ビ
グ	ズ	ヅ	ブ
ゲ	ゼ	テ	ベ
ゴ	ゾ	ド	ボ

ぱ	パ
ぴ	ピ
ぷ	プ
ぺ	ペ
ぽ	ポ

ぎ行和だ行中じ、ず的发音与ち、づ的发音相同，即分别相当于普通话中“鸡”、“滋”的发音。

浊音字母的发音可分别用 g、z、d、b 来表示，而半浊音则用 P 表示。

拗音是由い段辅音与や、ゆ、よ相拏合而成的音节。拗音的标记法是把や、ゆ、よ小写在い段辅音的右下方。拗音拏写见拗音表。

另外，半浊音び也可与や、ゆ、よ构成拗音。

拗 音 表

や 拗 音		ゆ 拗 音		よ 拗 音	
きゃ	キャ	きゅ	キュ	きょ	キョ
ぎゃ	ギャ	ぎゅ	ギュ	ぎょ	ギョ
しゃ	シャ	しゅ	シュ	しよ	ショ
じゃ	ジャ	じゅ	ジュ	じよ	ジョ
ちゃ	チャ	ちゅ	チュ	ちよ	チョ
にゃ	ニャ	にゅ	ニュ	によ	ニョ
ひゃ	ヒャ	ひゅ	ヒュ	ひよ	ヒョ
びゃ	ビャ	びゅ	ビュ	びよ	ビョ
みゃ	ミャ	みゅ	ミュ	みよ	ミョ
りゃ	リャ	りゅ	リュ	りよ	リョ

拗音变长音时,在有关的拗音后加あ或う。きゃ之后加あ如きやあ,きゅ之后加う如きゅう,きょ之后加う或お如きょう。

促音是把つ小写于某个字母的右下方,此字母读时要短促有力,象是停顿一下。此时つ不发任何音。日语中一般把促音分成舌尖促音、喉头促音及两唇促音。若促音つ后面辅音是さ行或た行,属舌尖促音。若つ后是か行辅音,则属喉头促音。若つ后是ば行辅音,则属两唇促音。例如:けっせき(缺席)、がっこう(学校)、にっぽん等是属于这三种促音。

拨音是五十音图中最后字母“ん”,也叫做鼻音。它只是跟在其他字母后面,一般不能单独使用。

速成法学日语,一般是在短期内重点学习语法。但是为了提高学习效果,对于日语字母的发音也要求尽可能达到正确无误。对于一些常用的词汇应该记熟,而发音的正确与否也会影响词汇的记忆。因此为了便于以后的课堂学习,学员应在短期内掌握五十音图的发音。除发音外,还要求熟记每个字母的书写,做到不论是平假名还是片假名,都应正确地读出发音。此处所要求的正确发音也是相对而言的,当然,达到发音正确无误,通畅流利地阅读科技文献,经过一定努力也是可能的,但已超出了这种速成学习班的范围了。

第二课 句子和词的分类

一个句子是由不同的词类所组成的。日语也象其他语言一样，有名词、代词、数词、动词、形容词、副词、连体词、连接词、感叹词、助动词和助词。日语的句子就是由这些不同的词类组成的。

从语法上讲，日语中有些词类是没有词尾变化的，因而是比较容易掌握。有些词类如动词、助动词、形容词等有词尾变化，并且经过变化后往往不容易认出其原来的形状，因而对查日文字典造成了一定的困难。为了学会能看日文科技文献，必须很好地掌握动词、助动词和形容词的变化。这些词类以后再讲，现首先学习格助词。

格助词 日语中的名词、代词及数词都没有词尾变化，在一个句子中它们到底起什么作用是靠格助词来表示。

主格助词が 在一个句子中的某一名词、代词之类的词之后，这个名词或代词就是句子中的主语，主语是在句子中发出动作的词。例：

光沢が優れる	光泽优良
原子核が分裂する	原子核分裂
温度が上る（あがる）	温度上升
耐水性が向上する	耐水性提高
事故が発生する	发生事故

宾格助词を 加在一个句子中的某一名词、代词之类的词之后，这个名词或代词就是句子中的宾语。宾语是在句子中接受动作的词。例：

塗料を使用する。	使用涂料
----------	------

温度を下げる

降低温度

硫酸銅を溶かす

溶化硫酸銅

学生が計算をする

学生进行计算

ごはんをたべる

吃饭

上述几个例句中皆用を来表示句中的宾语。但有些文法认为不及物动词不能有宾语，因而有些动词要求を，但并不表示宾语。为了简便起见，我们也可以把某些不及物动词要求的を视为宾格助词。例：

橋をわたる

过桥

飛行機が空をとぶ

飞机在天空飞

领格助词の の相当于汉语的“的”、“之”字，名词之后加上の，该名词即变为定语，即相当于俄语中名词第二格。例如：

先生が学生の計算の結果をしらべる（調べる）

老师检查学生的计算的结果。

わたくしの万年筆をつかう（使う）用我的自来水笔

春の雨がふる

降春雨

原子力の時代が来る

原子能的时代到来

東の風がふく

东风吹

补格助词に に加在名词之后表示位置，在俄语或德语中相当于某些前置词或介词的形式。可用来表示地点、时间、行为、目的等。に的用法在所有格助词中是较为复杂的一个。本课只介绍其最基本用法。例：

温度が摄氏三十五度に上る。 温度上升到摄氏35度

テーブルの上におく（置く）。 放在桌子上

鋼材の防食に亜鉛が有効である。 锌对钢材防蚀是有效的
太陽が大量のエネルギーを地球に供給する。

太阳供给地球大量的热

午後1時に北京につく

下午1点到达北京

水が水蒸気にかわる(変る) 水变成蒸汽

原子エネルギーを平和産業に利用する。

把原子能用于和平事业

补格助词で で用来表示范围、场所、原因、方法等，汉译成“在”或“用”。

近頃は激しい労働は皆機械でやる。

近来剧烈的劳动皆用机械进行

我我は最も新しい方法で学生を教える。

我们用最新方法教学生。

人工で纖維をつくる(造る) 用人工制造纤维

万年筆で字をかく(書く) 用自来水笔写字

2週間でできる 两星期完成

补格助词へ へ表示方向，近似汉语的向、往等。へ作格助词时发音为え。例：

飛行機で東京へとぶ 乘飞机飞往东京

冬服を箱へ詰める 冬衣装入箱内

直線をA Bの方向へ延長する

把直线往A B方向延长

水平座標軸へ垂線をおろす 向水平座標軸作垂线

补格助词と 其用法有如下几种：

1. 表示事物变化结果，可汉译为“成”、“为”。例：

木が石炭と化する 木化为煤

液状合金を陽極とする 把液状合金作阳极

2. 表示动作的共同者，可汉译为“和”。例：

先生が学生といっしょに研究する。

老师和学生一块研究

3. 表示行为的目标。例：

人間が自然と闘争する。	人类同自然作斗争
困難と戦う	同困难战斗

4. 表示思考或称谓内容。例：

二つの平面の交線を直線という

两个平面的交线叫直线

円周の一部份を弧とよぶ（呼ぶ）

圆周的一部份称之为弧

もう1週間でこの実験がおわると思う（おもう）

我想：再一个星期实验就结束

补格助词より より用来表示比较对象，可汉译为“比”或“较”。より有几种用法：

1. より接在名词之后，汉译为“比”。例：

鉄は銅より硬い。 铁比铜硬

この体温計はあの体温計より正確です。

这个体温表比那个体温表正确

去年より今年の方がいい。 今年比去年好

被防蚀体Cの電位は規定の防蚀電位 P_c より高い。

被防蚀体C的电位比规定防蚀电位 P_c 高。

2. より表示与其……无宁、胜于之意。

聞くより見る方がよい。 听不如看

3. 有时接于动词之后可汉译为除……之外。例：

歩くより仕方がない。 除步行外没有办法

4. 表示“从”、“自”的意思。例：

君は何時日本より帰ってきたか。

你何时从日本回来的

北京より広州に至る。 由北京至广州。

补格助词から和まで 从……至……，表示时间、地点。

例：このバスは河南から河北まで行く。

这辆公共汽车由河南驶到河北。

人を地球から月の世界までおくる（送る）。

把人从地球送到月球世界去。

补格助词也可以单独使用，而可汉译为“从”、“用”、“由于”。例：

9月から新学期がはじまる。 新学期从9月份开始

石炭から織物をつくる。 用煤制造纺织品。

蛔虫から腹痛をひきおこす（引起す）。

由于蛔虫而引起腹痛。

第三课 动词的基本形、连用形及未然形

现代日语的动词基本形，即原动词最后一个字母一定落在う段的字母上，如はたらく（働く）劳动、作用，いう（言う）说话，できる（出来る）会、造成，くる（来る）来，する（為る）做，はじめる（始める）开始。

具有动词性的名词加する即变成动词。例：

研究する，学习する，延长する，计算する等。

动词的主要作用是在句中做谓语。上一课讲格助词，句中皆使用了动词。此课简单讲一下动词的特点，便于进一步阅读文献。

日语动词的现在时和将来时形式相同，只是在表示将来时在句中要加时间状语予以说明。例：

来月の中旬から学期試験が始まる。

从下月中旬开始期中考试。

子供達は次の日曜日に動物園へ行く。

下星期日孩子们去动物园。

僕は来年の夏休に郷里に帰る。

我明年暑假回家乡。

助词は和もの用法 助词は是一种不变化的词类，它在句中起提示或强调某一句子成份的作用。例：

アルミニウムは金属の一種である。

铝是金属之一种。

わたくしは毎日工場へゆく。

我每天去工厂。

ニコチンはからだに有害である。

烟碱对身体有害。

天秤は一階の実験室にある。

天平在一楼试验室里。

“は”在句中作助词时读“わ”，除强调主语外，也可强调其他句子成份。例：

きょうの午後は第三実験室で実験をやる。

今天下午在第三实验室做实验。

今年の建国記念日には、世界各国から代表団が来る。

今年国庆节从世界各国有代表团来。

助词も汉译成“也”、“都”，其作用与は相同。例，

マンガンも金属の一種である。

锰也是金属之一种。

男子も女子も働く。 男女都劳动。

わたしたちの図書館にも、日本語の図書が相当にある。

我们的图书馆也有相当多的日文图书。

硫酸も塩酸も常温では液体である。

硫酸和盐酸在常温时都是液体。

わたくしも、毎週の木曜日には研究所へゆく。

我每周星期四都去研究所。

系词だ和である都汉译为“是”、“为”。通常是作谓语用。例：

わが国は、天然資源が豊富だ（豊富である）。

我国天然资源丰富。

この人は労働者だ。 这位是工人。

空気は、酸素と窒素などの気体の混合物である。

空气是氧气和氮气等气体的混合物。

植物には、日光と空気が何よりも重要である。

对于植物，阳光和空气是比什么都重要。

日语的动词除现在式、将来式外，也有过去式。动词变为过去式的时候，词尾发生变化（变为连用形），并加时相助动词“た”。动词词尾变化比较复杂，以后将逐步介绍，动词词尾变化的规律一定要掌握好，才能准确无误的阅读日文科技文献。今后将重点介绍日语动词的变化规律。

动词过去式用た表示。例：

ゴム管が1/3伸びた。（现在式为伸びる）

橡胶管伸长了1/3。

黄リンを小皿に入れた（入れる）

把黄磷放到小盘中。

アンモニアに硫酸を加えた（加える）。

把硫酸加到了氨内。

太陽が出た（出る）。

太阳出来了。

从上述的例句可看出动词变过去式除加た之外，词尾也有变化（变连用形），动词的变化在日语语法中称活用。基本上动词活用可分两大类，即一段活用和五段活用（亦有人称四段活用）。一段活用比较简单，在此先讲。

一段活用动词最明显的特征是基本形词尾最后一个字母是る。如：

居る（いる） 出来る（できる） 過ぎる（すぎる）

錆びる（さびる） 得る（える） 溶ける（とける）

上げる（あげる） 始める（はじめる）。

一段活用动词若词尾倒数第二个字母是落在い段上，则叫上一段活用动词，若倒数第二个字母是落在え段上，则叫下一段活用动词。上面所举的动词如居る（いる）等，是上一段活

用动词。得る（える）等是一段活用动词。一段活用动词变过去式时，把词尾的去掉加た，例句前面已讲到，此地再举一个例：

冬が過ぎた。 冬天过去了。

动词被否定时，要采用否定式，这一点是德、俄语中没有的语法现象。动词被否定时基本形要变成未然形，再加否定助动词ない。

一段活用动词的未然形 是把动词最后一个字母る去掉，加ない即构成动词否定式。例：

一般に金属は，空気中では燃えない（もえる）。

一般金属在空气中不燃烧。

松の木は，冬でも葉が落ちない（おちる）。

松树在冬天也不落叶。

动词する（做）和くる（来）是两个特殊变化的动词，日语语法称变格活用动词，即既不属一段活用，也不属五段活用动词。

する的连用形为し，过去式为した。くる的连用形为き，过去式为きた。

春がきた。

春天到了。

野にも山にも，春が来た。

田野和山脉都回春了。

蒸気機関を発明した。

发明了蒸气机。

それを工業に利用した。

把它用到了工业上。

飛行機が空中を旋回した。

飞机在天空中盘旋了。

する和くる在被否定时要变成未然形，再加ない。

する的未然形为し，否定式为しない。

くる的未然形为こ，否定式为こない。例：

湿度の高いところでは，物は容易に乾燥しない。